

1. 件名：原子力科学研究所（JRR-3）における基準地震動の変更が不要であることを説明する文書に関する面談について

2. 日時：令和4年1月20日（木）13時25分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官※、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職

原子力規制庁 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

：呉地震・津波政策研究官※

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

：建設部 次長 他6名※

安全・核セキュリティ総括部 安全・核セキュリティ推進室 2名※

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・原子力科学研究所（JRR-3） 基準地震動に対する標準応答スペクトルの影響検討（コメント回答資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	成長のイワタですお疲れ様です。準備がよければですねヒアリング始めたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:00:10	後金セシモですね。こちら準備できていますので、よろしくお願いいたします。はい。資料の説明からお願いいたします。
0:00:19	はい。JA建設部の富永です。それではですね、原子力科学研究所J-R III基準地震動に対する標準応答SPECTが影響検討についてご説明させていただきます。
0:00:31	この資料についてはですね、12月にコメントを受けましたので、そのコメント内容ですね、達成ます。
0:00:38	させていただきますので、主にその内容についてご説明させていただきますと思います。
0:00:44	それでは1ページ目が目次になりまして、
0:00:48	次のページ、2ページ目をご覧ください。こちら会合におけるコメントでございますが、特に主修正等はありませんので、説明については割愛させていただきます。
0:01:01	次のページ3ページ目をご覧ください。このページについてもですね9月3日の審査会合の再掲となっておりますので、
0:01:09	説明については割愛させていただきます。
0:01:13	次のページ、4ページ目をご覧ください。標準応答スペクトル。
0:01:17	について衛藤。
0:01:19	を踏まえましてJ-R水での検討方針についてご説明させていただきますと。
0:01:24	標準応答スペックの概要を踏まえましてJ-R IIIはですね、基準地震動S <sub>s</sub> -Dを策定している解放基盤表面。
0:01:33	出野せん断波速度V <sub>s</sub> がですね。
0:01:36	710メートルパーセックで定義されております。
0:01:40	これを踏まえまして、検討方針についてご説明させていただきますと、
0:01:45	標準応答すべくに対し、基準地震基盤相当面から解放基盤表面までの伝播特性を解放基盤表面の応答スペクトルに反映させるとともに、
0:01:56	設定された応答スペクトルと基準地震動S <sub>s</sub> -Dとを比較し、影響を確認いたします。
0:02:02	次に次、地震基盤相当面については既許可の時、地盤構造モデルについてV <sub>s</sub> 2500メートルパーセックの層状面、GL-0.997キロメートルに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	設定いたしまして、解放基盤表面の地震動を評価いたします。
0:02:19	次のページ、5ページ目ご覧ください。基準地震動 $S_s$ についてですが、こちらに書かれている基準地震、 $S_s - D$ 集め応答スペクトル手法による基準地震動等、
0:02:32	標準応答スペクトルを考慮した地震動について比較させていただきます。
0:02:37	次のページ、6ページ目ご覧ください。こちらが $S_s$ の加速度は形の一覧となっております。
0:02:44	次のページのページ目ご覧ください。
0:02:47	標準応答スペックを考慮した地震動の評価検討フローであります、
0:02:52	こちらについて簡単にご説明させていただきますと、
0:02:55	まず、時岡の地盤構造モデルの地震基盤相当面についてと、
0:03:01	設定させていただきます、それ、次、次にですね、地震基盤相当面における標準応答スペクトルに基づく、茂木はを作成させていただきます、
0:03:10	解放基盤表面における地震動を算出し、現行の基準地震動 $S_s - D$ との比較をさせていただきます。
0:03:18	次のページ、8ページ目ご覧ください。
0:03:21	地盤構造モデルの設定についてですが、標準応答スペクトルが $V_s 2200$ メートルパーセック以上の層で設定された応答スペクトルであることから、既許可の地盤構造モデルの $CL - 0.997$ キロメートル1、
0:03:36	地震基盤相当面に設定いたします。設定した地震基盤相当面にノウハウを入力しまして、地震応答解析により、解放基盤表面における標準応答スペクトルを考慮した地震動を評価させていただきます。
0:03:51	次のページ9ページ目10ページ目ですが、衛藤門谷を修正させていただきます、これについては12月でのヒアリングと、変えておりませんので、
0:04:02	説明については割愛させていただきます。
0:04:05	11ページ目ご覧ください。解放基盤表面における地震動の算出についてですが、作成した茂木は地震基盤相当面入力し、解放基盤表面における標準応答スペクトルを考慮した地震動を評価いたしました。
0:04:20	同図が二つございますが、
0:04:22	上段が水平成分の加速度計で、下段が鉛直成分の加速度は形となっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	この加速度 8K に対してですけれども、基準地震動 S s - D との比較について説明させていただきたいのですが、それについては 12 ページ目をご覧ください。
0:04:43	基準地震動 S s - D 等ですね、作成した標準応答スペクトルを高齢者地震動と比較させていただいております、
0:04:52	黒線が S s - D、赤線が標準応答スペクトル高齢者地震動となっております。
0:04:58	この A は形をです二つ比較したところを標準を通すとこうした地震動は、全周期体で基準地震動 S D、S s - D に包絡される。
0:05:08	ということについても確認させていただいております。
0:05:11	以上が欄水槽を用いた検討の内容となります。
0:05:16	次のページがですね、13 ページをご覧ください。
0:05:19	13 ページ目は実推町に、
0:05:21	よる検討でございますが、これについては 12 月のヒアリング、
0:05:26	でも同じ内容を書かせていただいておりますので、説明についてはですね、割愛させていただきます。
0:05:37	次のページ 14 ページ目をご覧ください。こちらがコメント等、12 月でのコメント等を受けて修正させていただいた内容となっております、
0:05:47	実印挿入による検討において地震観測教育について記載させていただいておりますが、観測記録の位相特性には、敷地地盤の振動特性に起因する特徴があるため、
0:05:59	実依存いう検討に用いる検討対象地震は、敷地近傍で観測された地震観測記録から抽出いたしました。
0:06:08	三井宗による検討で用いる新観測記録についてですけれども、江藤下の、
0:06:14	ですね、ずっと表がございまして、表、図表からご説明させていただきますと、表については J R III で観測された地震観測記録となっております、
0:06:25	J R 水から信用距離 10 期、約 10 キロメートル範囲にあり、かつ深さ 0 から 20 キロメートルの地震観測局について、
0:06:35	整理させていただいております、主に五つ、地震動を抽出させていただきました。
0:06:42	特にですね、自走に用いる観測記録についてはですね、J R 水で観測された地震観測記録の中で、震源距離が敷地に一番近い地震観測記録である。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:55	2011年7月6日のMR、Mw3.8の地震動を用いてですね、地層による検討を、
0:07:04	をさせていただきます。
0:07:06	次のページ、15ページ目をご覧ください。
0:07:09	甲斐解放基盤表面における、地震観測記録、2011年7月6日の加速度は計をですね、同指名しております。
0:07:20	水平成分が7.3Gal、鉛直成分が5.8Galの加速度は計となっております。
0:07:28	図、次のページをご覧ください。実依存や検討で用いるですね浅部+深部地盤構造モデルを記載させていただいておりますが、このモデルを用い
0:07:40	でですね、解放基盤位置の、観測記録を地震基盤相当面に引き戻し、地震基盤相当面における地震観測記録について算出いたします。
0:07:49	浅部+深部地盤構造モデルについてはですね。
0:07:53	原子炉設置変更許可申請書に書かれている、浅部と深部の地盤構造モデルを用いて作成させていただきました。
0:08:02	次のページ、17ページ目をご覧ください。
0:08:04	引き戻しより、られた地震基盤相当面における地震観測記録の加速度だけを示させていただいております、水平成分が2.9Gal、鉛直成分が2.7ガルのは形となっております。
0:08:20	次のページ、18ページ目をご覧ください。ミツイ損による検討においてその文作成したもうフェアについてご説明させていただきますと、茂木自身はについては、
0:08:32	地震基盤相当面における地震観測記録の位相特性を用いて作成いたしました。その模擬地震加速度は形を示させていただいております、
0:08:42	上段のは形が同水平成分、下段のは系が鉛直成分の8Kとなっております、それぞれの最大加速度は510Galと390ガルの形となっております。
0:08:53	次のページ19ページ目をご覧ください。
0:08:56	作成した茂木神芳賀日本勉強会2015に示される、適用度の条件を満足していることを確認いたします。目標とする応答スペック取る気に対する思いは応答スペクトル。
0:09:08	昨日日間をどうスペクトル比ですが、これが全周期体で0.85以上、応答スペクトルの強さの非S1比が1.0以上であることを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:18	確認いたしますが、作成した茂木神はは電、日本勉強会に示されて適合の条件を満足しているということについて確認させていただきました。
0:09:31	作成した茂木神はを用いてですけれどもトランス移送に検討と同様にですね地震応答解析を行いまして、その結果をですね、20 ページ目に記載させていただきますいております。
0:09:43	解放基盤表面における、その実現損益検討で、算出した地震動について記載させていただきますが、上段が水平成分、
0:09:55	下段が鉛直成分のハ形となっております、
0:09:58	それぞれ最大加速度が 806 あると、603 あるのは形となっております。
0:10:05	次のページ 21 ページ目ご覧ください。
0:10:08	らん水素と実位相による検討結果の比較です。であり、ありますが、先ほど津は作成した解放基盤表面における、
0:10:18	G 層の、灯っ。
0:10:21	標準応答スペクトルこうした地震動から算出した絵と、
0:10:26	地震動のは形をですね、青井温泉
0:10:29	トランスによる検討で算出した、進路は形をですね、赤色線で合わせて、
0:10:37	いただいておりますが、実移送による検討のスペックの形状はですね、水槽による検討結果と同程度であり、双方の結果は整合していることから、
0:10:47	水槽による検討結果の妥当性というものを確認させていただきました。
0:10:54	次のページ。
0:10:55	ですね、参考文献となっております、
0:11:00	一つ、説明については省略させていただきます。次のページがですね、補足資料ない内容となっておりますが、今回
0:11:10	応答応答スペクトル 1 時バーン構造モデルの設定根拠の内容を記載させていただきますが、説明については省略させて、
0:11:20	させていただきますと考えております。
0:11:22	説明については以上になります。
0:11:25	はいありがとうございます。審査側から確認する事項とかあればですね適宜お願いします。
0:11:33	規制庁の大井です。
0:11:35	ご説明ありがとうございます。えっとですねまずちょっと前回の会合やヒアリングから変わったこととしてちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:45	ちょっと私、ちょっと整理させてもらいたいんですけど、まずは大きなところとしては地震基盤相当面の設定ですね。
0:11:53	プロ Vs 2500 メートルの層序面に設定したこと。
0:11:57	で、あとは、
0:12:03	等、
0:12:04	飛びまして、14 ページとかで、これヒアリングから変わったことですが 9 月 3 日でも指摘事項でミツイ層による検討すること。
0:12:13	することというか
0:12:16	伝播特性についてね、ばらつきが差異がないことを説明することっていうことで複数の手法ということ
0:12:23	観測記録を使ってもこれヒアリングの時には、確か、
0:12:28	茨城県北部のもっとちょっと強い地震を、30 キロの、
0:12:32	震源距離さ、震央距離だったら震源距離だったらちょっと 30 キロの遠いちょっと地震を使ってたけど、
0:12:38	今回は震源、敷地の、
0:12:40	観測記録、 J R III で観測された記録を使って一番近い記録を使って、
0:12:47	茂木はとか、磯を使って茂木派を、
0:12:51	作って、最後の 21 ページのところ
0:12:55	淡水層との比較をしてバラつきがないことを確認したと。
0:13:00	ということと、あと、
0:13:02	これヒアリングから変わってないんですけど 24 ページのところで書かれてますように、
0:13:07	要するに 9 月 3 日の審査会合で、
0:13:13	増井宗。
0:13:14	による検討における模擬地震版については
0:13:18	エーットーだったけど、この理由を書いていますけど、短周期側の応答スペクトル比の適合度を向上させるために、
0:13:26	模擬地震を見直して、
0:13:28	ラン水槽の方の
0:13:32	検討したということ。
0:13:35	この辺が変わった点っていうことでまずはよろしいでしょうか。
0:13:43	乳井建設部の感じです。そちらの認識の通りで結構です。
0:13:53	とです。まず一つ目の大きなこととして、
0:13:57	地震基盤相当面の設定っていうのは 9 月 3 日の時点で少しかなり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:02	2 ページのコメントにもあるように 9 月 3 日の時点では、
0:14:09	既許可のモデルを使って 200 メートルに設定する。
0:14:14	か。
0:14:15	参考資料として最初何かこう、
0:14:18	2200 の層を作って、
0:14:21	地震動評価をしていたという、
0:14:24	ことです。
0:14:26	で、
0:14:27	今回はこの V s 2500 という、
0:14:30	層状面に設定したということですが、
0:14:33	えっとですね、このちょっといろいろ経緯がありますので、
0:14:38	何て言いますか、
0:14:41	考えがこれに至っていたのに、ここ、これに、
0:14:44	至ったですね事業者の方の考え方をちょっともう一度ちょっと、
0:14:49	教えていただきたいんですけど。
0:14:52	よろしいでしょうか。
0:15:02	J A 建設部ナカニシですが、前回の審査会合、本間の時には
0:15:09	店に入力したものと 2200 ということでやら、実施しておりましたが、 間野。
0:15:18	標準応答スペクトルの規則における記載踏まえて V s 2200 メーターパー セック以上で、既許可のモデルというところで、まず地震基盤相当面の位 置を、
0:15:31	V s 2500 メートルパーセック。
0:15:34	の位置に設けるということで
0:15:39	入力位置を見直してございます。
0:15:44	これについては何かの許可のモデルを今回の J R R について
0:15:52	S s を上回らないという、説明文書で整理しておりますので、基本的に 秋葉モデルで、
0:16:00	単純に V s 2500 人、2200 以上である 2500 に入れて、大小関係を比較 したという整理に至りました。
0:16:11	わかりましたがちょっとそのですね。
0:16:14	2 ページがいいと思うんですが、
0:16:17	コメントに対するですね回答方針というかそれをちょっと今の内容辺り でよろしいので、少し簡潔に。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:26	付け加えていただくことは可能でしょうかだから小コメント No. 1 に対して、
0:16:32	表になってますが、それに少し、
0:16:35	それぞれ、
0:16:38	この回答方針をちょっと変えていただくことってというのは可能でしょうか。
0:16:44	建設部仲西です。了解しましたそれぞれのコメントに対してコメント回答の概要みたいなものを
0:16:51	前段の方につけさせていただきたいと思います。
0:16:54	はい、ありがとうございます。じゃあ、お願いいたします。
0:16:57	私からもう 1 点ですね、
0:17:04	14 ページで、
0:17:06	見相による検討ということで、この
0:17:13	川で観測された地震記録の中で震源距離が一番敷地に一番近い地震記録、
0:17:19	Mw3.8 等を使って、
0:17:24	検討したということですけど。
0:17:26	ちょっとこの、この、
0:17:29	一番近い、
0:17:31	地震記録を使ったっていうところの、
0:17:34	考え方っていうかなんすかね何でそれ押す。
0:17:38	結局選ぶに至ったかっていうことについて、
0:17:41	もう少しちょっと教えていただけないですか。
0:17:50	J A 建設部、仲西ですが、前回 12 月のヒアリングの時にはまだ内陸地殻内ってところで地震のタイプを
0:18:02	考えて、それに対して、間野。
0:18:05	間野近傍。
0:18:07	の記録というよりは
0:18:10	少し離れてもマグニチュードが大きいものというのは、茨城報告で取れていたんで、ちょっと距離が少し広げてそれで地震動を抽出してありました。今野。
0:18:24	10、12 月のヒアリングのときに、意見交換をさせていただきまして、なるべく近いところの記録の方がちょっと離れたところだとその伝播特性というのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:38	事業特定せず。うん。今の。
0:18:41	の特性。
0:18:43	とはちょっと違う可能性もあるというところも踏まえまして、極力、敷地に近い記録で、勝真野。
0:18:52	浅い記録ということで、再度抽出をし直して、今回の記録を用いて評価を、
0:19:00	しており、
0:19:04	はい。規制庁の大井ですけど、
0:19:07	ちょっとまず、もう一つ確認ですけどこれ、
0:19:11	この地震っていうのは内陸地殻内地震でいいんですか。
0:19:18	中完成します。
0:19:20	深さ的に見ますと、内陸地殻内地震だろうという判断をしております。
0:19:27	すいませんこの表に載ってる四つの他の地震は、
0:19:31	海ですけど、これはどういうタイプの人でしょ。
0:19:50	藤他の地震も一応内陸地の浅い地震ですので、もう、
0:19:55	地震の種別としては内陸地殻内地震というふうに考えていいと思ってます。
0:20:01	であればですねまず資料に追記することはできますか、内陸地殻内地震。
0:20:09	頭である
0:20:10	この地震記録を使ったということ
0:20:13	はい。承知しました。そこは追記いたします。
0:20:49	すいません規制庁ナガイですけどちょっと今多いのが何何と言えいいのか若干困ってるところの補足しますと、この14ページの方ですね、今、地震の選定過程、
0:21:00	言葉悪く言えば曖昧な言葉でしか書いてないんですよ。例えば震源近傍で観測されたとか、
0:21:06	新震源距離が一番近いとかってなってるんですけどもこの辺りの具体的な数字をですね選定理由とともに書いていただきたいと。
0:21:15	いう趣旨ですがよろしいですか。
0:21:21	鉄部、仲西です。了解いたしました。
0:21:24	はい。併せてですね、これ今回、この地震を選んだというのは1、
0:21:32	1ポツ目の1行目の真ん中にあるようなことが理由かというふうに推測されるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:38	この目的としては振動特性っていうところで引地Gの記録の中にそういうものが見られるから、敷地の記録を使う。
0:21:47	という。
0:21:49	目的でよろしいですかね。
0:21:57	建設部仲西です。ご指摘の通りです。
0:22:01	はい、わかりました。であればちょっとそれがもうちょっとですね何て言うんでいいですかね。わかりやすく読めるように。
0:22:07	書いていただきたく思いますがそこもよろしいですかね。
0:22:15	了解しました文章のところに、先ほどのうち敷地の伝播特性を踏まえの記録を反映することを踏まえというのを、わかるような形に文章の方を追記します。
0:22:27	はい。表現については任せますのでさソガは、他のものが読んでわかるようにしていただきたいと思います。
0:22:38	この辺から若干うがった見方になりますけども、確認したいんですけども。
0:22:43	本来規則解釈で求めてるところは、震源近傍の記録と言ってるところで、今回実位相を使った。
0:22:51	ところで、そうではなくて、ある程度離れてますよね。
0:22:56	敷地じゃないところの観測点を探そうと思えば、それはできるかもしれないんですけど、そういうことではなくて今回の敷地の記録を使うに至った考え方っていうところを、
0:23:08	簡単でいいので説明いただけますか。
0:23:19	J A 建設部ナカニシですが、先ほどちょっと触れさせていただきましたが、やはり自前、自前というか
0:23:26	当サイトで観測されてる記録というのが、当サイトの地震動評価をする上では、最も適切と考えているので、その記録を用いているという、
0:23:39	はい、わかりました目的合致した記録を使うというのが趣旨だということと理解しますが、それでよろしいですね。
0:23:49	はい。
0:23:50	その通りです。
0:23:53	はい、わかりました。もう1点ちょっと別の観点からちょっと、御社の解釈って言ったこと正しいのかもしれないんですけども、確認させていただきたいんですけど、今までいろんな形幾つかの記録で、
0:24:06	説明していただきましたけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	全体的に見えるところとして、
0:24:13	本来その地震基盤相当面で設定した最大加速度が、
0:24:17	その最大加速度にならずに、違う時間体で最大加速度を叩いていただく。
0:24:22	非常に多いなという印象を受けてます。
0:24:26	例えば今回のものであっても、
0:24:30	9 ページと 11 ページですかね。
0:24:33	比較すると、ちょっと推薦成分はわかりづらいんですけど同じなのかどうかちょっと。
0:24:39	はっきりしないんですが鉛直整備なんか違うところが最大加速度を叩くと。
0:24:44	というのが見られてます。他の今まで説明していただいたのもそうですけども、
0:24:49	ちょっとあれ、私がいろいろ今まで説明していただいた資料を見ると、
0:24:55	どうも、
0:24:56	想定されるのは、基本的に短周期側でフェイズシフトが起きてるんじゃないかと。
0:25:02	単式の目より間周期側に、
0:25:05	伝播の間に寄ってるんじゃないかという印象を受けるんですけども。
0:25:09	そのあたり、どのように今解釈されてるかもしれないかお考えがあれば
0:25:13	説明していただけますか。
0:25:45	原子力音声島津江藤。
0:25:47	つまりちょっと今そここのところの考察までは至っていないので、ちょっと。
0:25:53	少し検討したいと思います。
0:25:57	まず結果どうこうっていう話になるものではないんですけども。
0:26:01	全然そういう印象を受けていて、
0:26:03	といいますのも最初説明された、最初、最初の新評定トピックス会合で説明されたような適合度であると。
0:26:13	かなり短周期が増幅していた。
0:26:16	ていう実はってこれ増幅なのかどうなのかっていうの今まで説明されるいろんなのを見ると、増幅というよりは全体に短周期がずれて、
0:26:25	0.02 の方なりがより大きくなって、結果的にそこが大きくなってるのがかなという印象を受けたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:31	ちょっとその辺りが何かあるのかなと思って聞いたところです。
0:26:36	で、も頭に話を、実験で次に元の話戻すと。
0:26:43	以前は兼子丹周期が、
0:26:45	適応度が1を超えるよう大きく超えるような、
0:26:48	形で説明されていて、
0:26:50	S s - Dを超える可能性があるというご説明をさせていただいておりますが、今でも若干1より上回ってるは形でやってるけども、このは形でも超えないということでご説明されていると。
0:27:03	いうふうに考えてます。
0:27:05	で、もしやってあればでいいんですけど、仮にですね、短周期側の適応度が1押し、大きく下回る、
0:27:13	ようなものでやった場合に、
0:27:16	やっぱりその同じぐらいその適合度が悪くなった分ぐらい小さくなるという理解でよろしい。やってるまでやってなければやってないっていうお答えでいいんですけどもいかがですか。
0:27:29	原子力のセシモです。そこまで検討。
0:27:32	としていません。
0:27:36	はい、わかりましたそれはそれで構いません。そういう意味では、今回提示していただいた、3ページ言うたら、12ページですかね、12ページの、
0:27:45	結果っていうのはそういうものを考えた中では、
0:27:49	平均的といいますか、標準応答スペクトルが本来叩くような、
0:27:54	いわゆる適合度でいうと1に近いようなものを説明計算結果として出されているというふうに理解しますけどもそれでよろしいですか。
0:28:06	原子力をします今おっしゃっていただいた通りだと。はい。
0:28:10	ですはい。
0:28:12	はい、わかりました。そういう意味ではもしその適合度を例えば、前回の会合で示したようなものであると。
0:28:19	S s - Dは超える可能性はあるということも、
0:28:24	通すんよなんて今発生というか正しい。
0:28:28	というふうな見方でよろしいですかね。
0:28:36	議事録を整理しますおっしゃっていただいた通りですはい。
0:28:39	わかりました周辺事実確認できましたので、結論に関しては会合でということになると思いますが。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:45	事実としては確認できました。私からは以上です。
0:28:57	すいませんナガイですけど佐藤さん、3、何かありましたこの順でお願いできますか。
0:29:05	はいサトウですけども、すいません結構自宅からで失礼します。
0:29:10	最後、21 ページ最後のところなんですけどちょっと二つありまして、
0:29:15	青字で書かれているところ、地層による検討のスペクトル形状は、これこれ行って検討結果の妥当性を確認したっていうのはあるんですけども。
0:29:26	これ結局、とどのつまりは
0:29:29	ラン臍臓の方採用しているということなんだけども、
0:29:33	調和的だからっていうその何か理由がね少しちょっと腑に落ちないかなっていう感じなんですけども。
0:29:42	大体は実質を使ったやつと比べて、選ん水素を使った方が他のサイトだよね、大きくなるのでそっちを採用しますっていうこういう論理なんですけどね。
0:29:53	機構の場合はこれどう、どういう論理にするのか。
0:29:57	ていうところをちょっと確認したいんですけども、調和的だからっていう、その、
0:30:03	同程度であるから、っていうのが私、論理性があるかどうかってそこだけなんですけども、すいません。
0:30:32	J A 建設部の仲西ですが、尼子が震源特定せずを評価するにあたってまず
0:30:39	既往の間野スペクトルは、S s - Dでもそうですが村杉層をこれまで
0:30:45	実績として使っていて
0:30:48	断層による検討というのを主導して、今回検討し、
0:30:53	今回規則の方もそうですが今回の話、9月の審査会合のコメントNo.2においても、
0:31:01	大木層の実技そのばらつきも踏まえて他の複数の手法で検討することとなっているので、その部分を、
0:31:12	実で検討して、プラン済むと比較。
0:31:17	その際に敷地の伝播の特性が実位相の影響で、何、特異な傾向がないかっていうのを確認する目的で今回実位相を検討してる。
0:31:31	ラン水槽と実質今回実お金がいてますが、調和的だというと、
0:31:38	妥当性を確認したという整理。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:41	なります。
0:31:45	はい、佐藤です。
0:31:48	水槽の方主としてやったんだけど、やる値としてやって採用するんだけど、
0:31:54	兎相の方の検討も試してみたらそれと調和的だったってことだとは思いますが、
0:32:01	ここは説明だけの問題なんですけどね。もう。
0:32:06	興梠清だけの問題かなって言うふうに思っています。あともう一つは、
0:32:10	最後の締めがね、結局その、
0:32:14	追加で基準地震動を追加で考えなくてもいいですという締めが何か欲しくないですかね。何か最後。
0:32:23	最後ちょっと仕入れトボン的なところがこうあるんですけどね。
0:32:29	そんな気がしませんか。
0:32:32	最後のまとめ。
0:32:34	J A の建設のナカニシですが最後にまとめで総括的な文章を書かせて、追記するようにいたします。
0:32:42	その方が資料が閉まると思うんですけどすみません。
0:32:46	大事な結論ですね。
0:32:50	下。
0:32:52	私から以上です。
0:32:58	すいません規制庁の方です。
0:33:01	私言ったん。
0:33:04	藤ではないと思いますが先ほど、衛藤サトウさん。
0:33:08	なぜできた 21 ページの方で、
0:33:13	D 層、
0:33:14	検討した結果とほぼ成功的な結果で、
0:33:19	実際赤い線そもそも
0:33:23	S 1、T キリキリとこありますから今回仮に変わっても、包絡されてることが確認してますかね。
0:33:40	すいません最後ちょっと聞き辛かったんですがもう一度
0:33:44	何、何が変わったと今をおっしゃっていいおっしゃいましたでしょうか。
0:33:49	赤い線。
0:33:51	この前のページ赤い線等今、今まで削減した S s の企画テーマ、
0:33:57	何か。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:59	どうスペックを2、
0:34:02	基づくのS sに包絡されてます。
0:34:06	と、前のページありますね。
0:34:09	か、多分問題ないだろうますが
0:34:13	今
0:34:16	P E E Kどころ違うとこありますが青い線の赤い線の方がピックと谷井井戸。
0:34:22	大和違うとこありますか。豆結果的に、
0:34:29	大野S Sに置か崩落されてることを確認してますかどうかを、
0:34:34	確認したいです。
0:34:38	J A建設部中西です。移設に対して事実包絡されてることを確認しております。
0:34:46	はい。
0:34:47	お願いします後、16ページの方ですね。
0:34:52	16ページの右のIIの方で、例えば地震、
0:34:57	観測記録の発見から、池本じゃけど、
0:35:01	おそらく前のページからイメージ図をそのまま使ってません。ただし、
0:35:06	梅ページの流れからも15ページの実際の観測だけあるにもかかわらずイメージを、
0:35:13	そう、そのまま使って何か、
0:35:15	最初から見ると何か違和感ありますね。
0:35:19	せっかく、
0:35:21	この先を見ると、どう見みても貸すわけではないから多分、
0:35:26	一面イメージ図と、
0:35:28	明治出ますか。
0:35:30	図の作りの方がもう少し何か、
0:35:35	前の何かあれです。
0:35:36	昨日流れた方が、
0:35:39	もう本当に新保稲垣を使ったもっとわかりやすいと思います。
0:35:45	これ、コンテンツでいかがでしょう。
0:35:48	神建設部仲西です。15ページの実際の観測記録と16ページの形のが
0:35:56	違うというところちょっと修正させていただきます。
0:36:01	はい。
0:36:03	私から以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:09	はい規制庁の岩田です先ほど来から出ているですね事実、
0:36:13	観測記録による比較の話なんですけど21ページでですね同程度であるから妥当だっていうことではなくて今回皆さんがやりたいことは、既存のS sを超えてないということなので、
0:36:25	同等であるからどっちかと言われてもこの絵を見る限りなんか、
0:36:30	値方を微妙な数字なので、間関係性があるのでこれは両方ですねS s - Dに包絡されてることをちゃんと示したらどうでしょうか。現在の資料で12ページには、
0:36:42	書いてありますけどこれと同じような形でですね、兎相による検討したとしても、ちゃんとS s - Dに包絡されてることを確認しました。0歳5先ほど佐藤からコメントありましたが、結論としては、
0:36:55	包絡されてますとそういうことをおっしゃりたいということですよ。
0:37:01	はい。原子力の手島です。今おっしゃっていただいた趣旨になります。21ページの方に今ここにS s - Dとの小浦関係というのをちょっと資料の方で追加するようにしたいと思います。
0:37:16	はい、よろしく願いいたします。というのを最大加速度も若干でありますけれども、実官記録の方が大きいようなんです、その辺りは明確にお示しいただいた方がよろしいんじゃないかと思えます。
0:37:26	あと地震の観測記録の見せ方なんですけど前回のヒアリングの時の資料ですよ。あれはもう少し遠いところのものを持ってきたという、ストーリーを我々はわかるんですけども
0:37:39	今回、近いところだけに絞ってしまったんですがここは何か、特にストーリーは追加しなくていいですかどういふところにもあるんだけどより近いところ使いましたとかですね、結局はその目的としてるのは内陸地殻内地震を、
0:37:50	一生懸命探したんだけど、というところにはそこそこの大きさがあるんだけどより近いところで、ちゃんと敷地の伝播特性についてのその影響が確認できるようなものを選択しましたというそういうストーリーにはならないですかね。
0:38:09	原子力のセシモ、はい、わかりましたように今、ちょっとこの方は前回の建通スクリーニング等を踏まえてちょっと今いただいたようなコメントを踏まえて資料、
0:38:19	修正したいと思えます。はい。よろしく願いいたしますその時にですね例えば今の14ページでいくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:25	一つだけ今回採用したものについては日付が入ってるんでこれだなということがわかるんですけども、他の地震は何かどれがどれだかよくわからないのでできればなんかナンバリングをすとかですね、どの地震がどれに対応してるのか分かるかということを書いていただくということと、
0:38:40	あと先ほど
0:38:42	もう質問がありましたけれども内陸地殻内地震だけなのであれば本文中二つ目のポチに書いてもらってもいいんですが、そのあたりでですね、収集した記録が内陸地殻内地震であることが明確にしておいていただけますでしょうか。以上です。
0:38:58	原子力を制しますコメント、承知しました対応したいと思います。
0:39:33	はい。大体、
0:39:35	こちら本庁出勤者もそのぐらいですが佐藤佐口さん他に何か追加でありますか。
0:39:42	はい、佐藤です。特にございません。
0:39:45	売れず特に1点です。
0:39:46	はい。JAの方から何か追加で本日のですね、コメント等についての確認したい事項とか何かあればお願いします。
0:40:04	檀特にございませんコメントいただいた内容をちょっと資料の方に反映させていただきたいと思います。
0:40:10	わかりましたそうするとこの資料の修正ってのは大体いつぐらいにできますか。あとは仮に下のご説明いただくのであればどのぐらいの時間で説明ができるかというその2点。
0:40:20	教えていただけますか。
0:40:44	の基本図表とかの修正になりますので来週、
0:40:49	中には能城鑑定士、
0:40:52	準備できる。
0:40:55	状況です。
0:41:00	はい。あと会合での説明時間についてはいかがでしょう。
0:41:04	説明時間は15分程度を想定しております。
0:41:09	はい、わかりました。そうしましたらですね資料でき次第またご連絡をいただくのと、それを踏まえてですね、次回の審査会合の日程を考えたいと思いますがそれでよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:25	はい。技師補セシモですね。よろしくお願いいたします。はい。多分本件に係るヒアリングも以上でよろしいかと思いますが、特に何か改めて聞きたいことがなければですね、あの日、もう資料の修正はJ Aにお任せしますので、できたもので審査会合ということにしたいと思いますが、よろしいですか。
0:41:42	はい。
0:41:43	よろしくお願いいたします。
0:41:44	はい、了解いたしました。そうしましたら本日のヒアリングは以上にしたいたと思いますが、よろしいでしょうか。
0:41:53	はい、ありがとうございました。はい。どうもありがとうございますお疲れ様でした。サトウ寒さもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。